



学校だより令和2年6月
新宿区立四谷第六小学校
校長 児玉 純

- 【 教 育 目 標 】
- ・自ら学ぶ子ども
 - ・たくましい子ども
 - ・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6> メールアドレス yotsuroku@shinjuku.ed.jp

日常を取り戻すために

校長 児玉 純

ふと気が付くと新緑の季節がすでに通り過ぎ、いつの間にか今年も梅雨の季節になりました。

令和2年6月1日、校庭の青々とした芝生が子供たちを迎え、静まり返っていた教室に3か月ぶりに元気な声が帰って来ました。今までたいへんご苦勞とご心配を保護者の皆様、地域の皆様にはおかけしましたが、社会も学校も一歩足を踏み出しました。これからは新型コロナウイルスの感染予防を第一に、子供たちがしっかり学習し、心身ともに健全な成長ができるように今まで以上に教育活動を工夫してまいります。

先月、本校では2回、学校連絡日を設けました。9割以上の子供たちが目をキラキラさせて登校してきました。中には、まだ担任の顔や名前がよく分からない子もいたようです。短い時間でしたが、担任と言葉を交わし、久しぶりに会えた友達と言葉を交わし、ちょっと安心した顔で帰って行きました。実は、教員も子供たちと会ってとてもいい表情になっていました。子供たちと会えたことで、学校再開へ向けて、モチベーションが上がったようです。3月からの3か月間、集団生活がなかった子供たちが少しずつ新しい生活に慣れ、規則正しいリズムを取り戻してくれるように知恵を絞っていききたいと思います。

分散登校という子供はもちろん、教員も保護者の皆様も経験のない学校生活がスタートしました。最近よく言われている「新しい生活様式」ですが、本校では、「新しい生活様式（よつろく版）」として本日周知しました。これを習慣化してしっかり身に付けるよう、子供たちと一緒に取り組みます。まだ、登下校に慣れていない1年生にとっては、学校への行き帰りだけでも大きな負担になることが考えられます。また、来年3月には卒業を迎える6年生にとっては、一日一日が特に大切な学校生活になります。制限のある中ですが、「笑顔が集まるよつろく」目指して再出発です。これからも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



体力向上について

主任教諭

休校に伴って子供たちの体力低下が心配されます。学校では今後も体育の授業を通して子供たちの体力の向上を図り、体を動かす喜びを味わわせたいと考えております。

また、ご家庭でも引き続き縄跳びカードを活用した運動やストレッチ等を行い、体力向上に努めていただければと思います。

ご家庭でも楽しく行えるスポーツや運動を紹介しているサイトをご紹介しますので、ぜひご活用ください。

【子供の運動あそび応援サイト（スポーツ庁より）】

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop0

まなびの教室

主任教諭

新宿区には全校に「まなびの教室」が設置されています。誰でも得意なこと・不得手なことがあります。その内容や程度によっては、集団の中で力が上手に発揮できず、子供が本来、学習したい・友達と関わりたいと思っている意欲がそがれてしまうことがあります。そうなる前に、その子に合った学び方で学習したり、さまざまな場面での対応の仕方を学んだりする場が「まなびの教室」です。週に1～2時間、学級での授業のかわりに指導を受けます。お子さんの様子で気になることがあれば、担任やSC・特別支援コーディネーターにご相談ください。土曜日の学校公開では、施設の公開もしていますので、1階ひろば手前にある「まなびの教室」までお気軽にお尋ねください。